学校通信　売布小だより

# 和と力

1月号

売布小ホームページ

令和7年（2025年）1月 7日　　宝塚市立売布小学校

## 頌佳青陽（しょうかせいよう）

校長　藤山　昌生

新しい年が始まりました。年が明けると、干支にちなんだ話題がよく話されますが、2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。乙巳は新しい始まりや変化を象徴する年とされています。本日の始業式においても、“へび”にちなんだ話をしました。へびは地面をゆっくりと這いながらも、必要な時には素早く動き、しっかりと目的を達成します。また、へびも自然の中でひとりで生活するのではなく、共生しています。友だちと協力しながら成長してほしいと願っています。3学期は学年末、そして進級に向けて、大切な学期です。子どもたちが新しいことに挑戦し、変化を恐れずに成長していけるよう、いろいろな教育活動を通じて支援していきたいと思います。

新しい年2025年で個人的に楽しみにしているのは、大阪・関西万博です。大阪の夢洲（ゆめしま）を会場として、「Designing Future Society for Our Lives（いのち輝く 未来社会のデザイン）」をテーマに開催されます。早いもので、開催まで残り100日を切りました。パンフレットなどで紹介されている各国のパビリオンの完成予想を見ていると、どの国の外観も斬新なデザインでとても未来的です。デザインだけでなく、きっと、持続可能な未来を創造していくための哲学や技術が盛り込まれていることでしょう。私自身の1970年開催の大阪万博に行った写真は残っているものの、記憶にはありません。AIがこれほどまでに身近になっている今だからこそ、子どもたちにはこれからの50年、100年、それ以上先の未来に向けた最先端の技術や取り組み、そして何よりも世界の異なる文化を知る貴重な経験をしてほしいと思っています。

2025年は1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から30年という大きな節目を迎えます。昨年も書きましたが、多くの命と私たちの生活を奪ったこの大震災を忘れることはできませんし、決して忘れてはならないという気持ちがあります。大震災が発生すると学校は避難所となり、生活や情報の基盤となります。今年も学校では、1月17日に避難訓練を実施し、災害時にどう行動すべきかを確認します。また、震災の歴史等についても学び、災害が起きた際に自分自身と周囲の人々を守るための知識を深めていきます。あらためて振り返ると、地域で助け合うことの大切さを身に染みて感じたのが震災でした。子どもたちには防災学習を通して災害に対する正しい理解と冷静な対応力を身につけ、自分たちが住んでいるこの地域の安全に貢献できる力を養ってほしいと思います。

希望の灯り（神戸市 東遊園地）